

営業資料制作プロセスの改善提案

はるかワークス向け / 4週間の試行計画

本書は架空企業向けの日本語作例です。顧客・業績・数値・費用・削減効果はすべて例示であり、実在企業の実績やWworPointの効果を示しません。

提案の要点

相談が増える一方で、資料の制作時間が提案活動を圧迫している、という架空の状況を扱います。本文・根拠データ・デザインをファイルで管理し、確認と書き出しを一つの流れにする方法を4週間試します。

目標は「速く作る」だけでなく、根拠と変更を確かめやすくすることです。

想定する課題

現状は提案1件あたり12時間を使う想定です。転記、体裁の調整、完成品同士の見比べによる確認に時間がかかっています。削減の余地はありますが、まず測定方法をそろえる必要があります。

対象と範囲

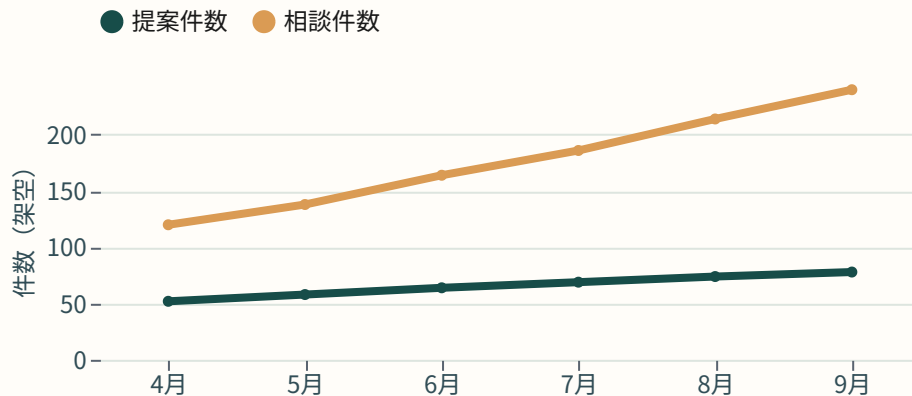
対象は一つの提案テーマと、そのレビュー担当者です。Markdown、ローカルCSV/JSON、CSS、図表の定義を管理します。顧客情報の持ち出しや業務システムの接続は、この作例の範囲に含みません。

判断のお願い

4週間の試行を開始し、週ごとの振り返り時間を確保する判断を提案します。全社展開の判断は、結果を確認してから行います。

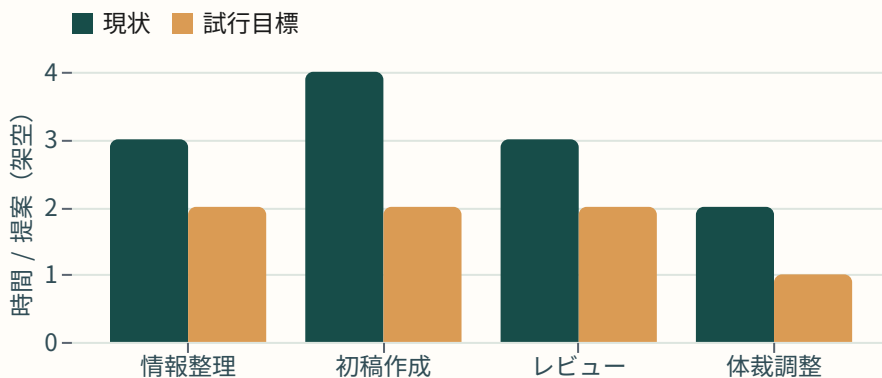
01 / 課題を、データで共有する

相談件数と提案件数の推移



4月から9月まで、相談数は120件から240件、提案数は52件から78件になったという架空データです。これだけで資料制作がボトルネックとは断定できません。相談の質、担当人数、案件の難易度も確認します。

工程別の作業時間



現状12時間から目標7時間という想定は、5時間・約42%の差です。これは未検証の試行仮説であり、削減を保証するものではありません。

測定の前提

同じ難易度の提案を対象に、初稿作成から承認までの実作業時間を記録します。待ち時間と会議時間は分け、品質の差を見落とさないよう修正内容も残します。

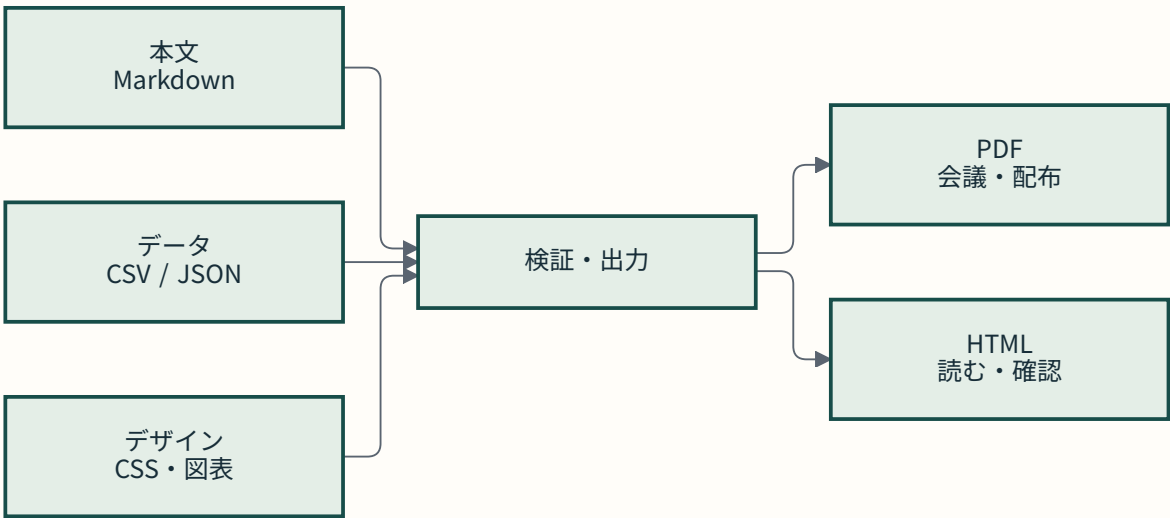
02 / 根拠とレビューをつなぐ設計

提案制作の流れ



担当者が本文を作り、レビュアーが事実・根拠・提案の妥当性を確認します。AIツールを使う場合も、草案をそのまま提出せず、人が確認して修正します。

制作物の構成



本文はMarkdown、データはローカルCSV/JSON、見せ方はCSSで管理します。Vega-LiteとMermaidの定義から図表を生成し、WworPointで検証してPDF・静的HTMLへ書き出します。組み込みAIサービスや編集GUIを想定していません。

確認するポイント

確認対象	担当する人	合格の見方
数値・出典	作成者+レビュアー	元データと一致する
提案の妥当性	業務責任者	前提・例外を説明できる
レイアウト	作成者	検証結果とPDFを確認する

通信方針は利用するAIツール・エディタ等で別途確認します。

03 / 小さく試し、根拠で決める

4週間の実施計画

架空の試行計画

週	到達点	責任者	確認すること
1	現状と基準をそろえる	営業企画	時間の測定方法
2	一つの提案で試す	担当営業	内容と根拠の一致
3	レビュー手順を固定	営業責任者	差分と再現性
4	評価し次を決める	試行チーム	品質を保てたか

評価指標と判断基準

指標	測り方	試行後に判断すること
作業時間	工程別の時間記録	同等の品質で減ったか
修正の手戻り	修正回数と理由	根拠の確認が早まったか
内容品質	共通レビュー項目	誤りや説明不足が増えていないか
続けやすさ	担当者の振り返り	学習負担が許容できるか

想定リスクと対処

数値は元データと照合し、AIの文章は人が事実を検証します。デザインは読み手に合わせて調整します。レイアウト検証は内容の正しさを保証しません。

次の判断

4週目に記録を共有し、継続・改善・中止を決めます。継続する場合も、対象を段階的に増やします。費用と効果の条件が確定していないため、この作例では金銭的ROIを計算しません。

この提案とすべての数値は架空です。実業務では前提と結果を測定し、個別に判断してください。

04 / 試行の前提を横に並べて比べる

横向きの付録 / 架空の作業時間比較

工程別の時間・根拠・確認基準を並べて見渡せます。現状12時間・目標7時間は架空の仮定で、実測値や削減の保証ではありません。

架空の試行条件と確認ポイント（提案1件あたりの時間）

工程	現状 h	試行目標 h	差分 h	残す根拠	確認担当	合格の見方
情報整理	3	2	1	出典一覧と案件の前提	作成者＋レビュアー	出典と対象範囲を照合
初稿作成	4	2	2	草案と修正の記録	作成者＋レビュアー	事実と仮定を確認
レビュー	3	2	1	確認項目のチェック記録	業務責任者	判断と例外が明確
体裁調整	2	1	1	検証したPDFとソース	作成者	読みやすく欠落がない
合計	12	7	5	難易度を揃えた作業記録	試行チーム	同等の品質を優先

比較表を一緒に確認する

試行中に実際の工程別時間を記録し、表に示した根拠を残します。案件の難易度を揃え、品質とレビューの意見を確認してから判断します。差分の5時間を実績として扱いません。

数値はすべて架空です。このPDFはA4縦4ページにA4横1ページを続けた構成です。